

- ・追加・変更箇所は**赤字**で表記。改訂日付は最新のみを記載。
- ・このメモから、ご自身の必要箇所を楽譜に転記するなど有効活用して下さい。

初版 2024/09/03

改訂 2025/01/14-2

【函館の女】変更と注意事項

<曲を通じて>

演奏方針：

- ・テンポ、速すぎず遅すぎずカラオケのテンポに慣れて歌えるように。**→かなりアップテンポでの演奏とする**
ので戸惑わずついてきて。この方が（振られた男の）カラ元気が表現でき、共感してもらえるはず。
音が多いので、油断すると曲が重くなってしまう。元気よくノリを維持して駆け抜ける。小さくなるところがないと思って、重くならないようにカラオケのノリで楽しんで。

- ・歌詞（メロディ、合いの手）は、声を張って滑舌よくエッジを効かせて勢いよく。

・伴奏パートの演奏：

- ◆演奏パターンごとにメリハリを意識しそれを瞬時に切り替えることで、曲想を構成する。

Ah～、Hm（：音量を出すため uh に変更）～、Oo～：朗々と流れるように

イントロ Ah～ と エンディング Oo～ はファンファーレのイメージ

間奏 Hm (uh) は、柔らかく、でも、テンポは落とさず、声量も全開で。

dun、tun、lu：ノリ良く、高揚感を維持して（グルーブ感を出して楽しむ）

ここではメロディを食うぐらいの音量を出すため、oに近い響きを入れて（ダウン、トゥン）。

dun は、ウッドベースの重低音（ダウン）で響かせる（デュン、デェン、ダンではない）。

tun は、楽しい感じで跳ねるように。

- ◆掛け合いが**ばらけると台無し**。指揮に遅れず、オンビートで刻む。**そうすれば音量も増す。**

イントロ後のテンポチェンジは出だし遅れず、アップテンポにしっかり食らいつく。

間奏のハミングの後はテンション切り替えて爆発するくらいはっきりと。

- ◆**休符（4小節、38小節、75小節）は、ビシッと無音でそろえる。この静寂が重要。**

- ・35～46小節 転調後を最大に盛り上げるのに重要なセクション。

35～38小節 全パート ここが転調するための関節の部分なのでごく重要。大きく大きく。

39小節～ 転調後の勢いにつなげる。バ～ン！という迫力を前面にだして。

ここが萎むと、転調後のメロディが活かない。音が高いのでみんなで気張ってテンション維持。

46小節の T1T2B1 と B2 の掛け合いはティンパニーで「ダンダンダン」と鳴らすイメージ。

<全般事項>

(20241022 練習後の確認) 楽譜の 2 番の歌詞の誤記の訂正 :

17~18 小節 誤「あかりさざめく まつかぜまちは」 → 正「あかりさざめく まつかぜ **ちようは**」

<個別事項>

- ・1~3 小節 B1B2 付点 4 分 + 8 分はきちんと跳ねる。裏の入りは鋭く突く (Ah— ッAh—) で。
- ・6 小節 T1 全音符は付点 2 分音符 + 4 分休符でよい (メロディをしっかりと歌い出すため)。
カラオケで歌う感じで自然に切って OK。
- ・B1 11 小節~のパート内での分担は明確に。下パートの出だしは 10 小節と同じ「A」。
- ・リズムパート (主に B1) 4 拍目が、「8 分休符 + 8 分音符」「4 分休符」と構成が異なる小節があるので、譜面をよく確認して。
- ・19 小節 T1T2 「おもい」の音階注意。「A C C」が正解。「G A C」と歌いがちだが間違い。
- ・27 小節~ 全パート Hm~ は とりあえず u で。(でも、日本語の「ウ~」にならないように)
B2 mp とか意識せず、ガナラず豊かにガンガンに響かせて。
- ・30 小節 B2 3 拍目の「**ㇿB**」が効果音なのでしっかりと下げて、きちんと聞こえるように響かせて。
- ・31 小節 T2 1~3 拍目は「G→B→C」(G→A→C ではない)。4 拍目は T1 とユニゾン。
B1 4 拍目に「G」があるので忘れずに。
- ・32 小節 T2 全拍同じ「A」。(3 音目「G」に下がらない)
- ・34 小節 T1 全音符は付点 2 分音符 + 4 分休符でよい (メロディをしっかりと歌い出すため)。
カラオケで歌う感じで自然に切って OK。
- ・
- ・36~38 小節 T2 すべて同じ音「G」
- ・39 小節~46 小節 T2 他のパートの音の間に入れるので難しい。
- ・42 小節 B1B2 4 拍目の lulu をしっかりと歌うため、(3 拍目を切ってもよいので) しっかりブレス。
- ・46 小節 T1T2B1 と B2 の 4 分音符での掛け合いが聴きどころ。
B2 は 2 拍 4 拍をバン!バン! と出し、その間に T1T2B1 がバチッと入る。
- ・48 小節 T1 全音符は付点 2 分音符 + 4 分休符でよい (メロディをしっかりと歌い出すため)。
カラオケで歌う感じで自然に切って OK。
- ・52 小節 B1 前の小節の「B」から「A」に下がっているので注意。
- ・54 小節 T2 「ぬー」と「ゆ」は同じ「B」。「ゆ」で下がらないよう注意。

- ・60 小節 B2 3 拍目～「こおるー」上パートと歌詞を合わせるため。(×「こおーる」)
- ・62 小節 T2B1B2 難しい。T2：違うメロディ、B1B2：中途半端な歌詞。
- ・71 小節～ 全パート Oo は Woo (u) と歌う。(日本語の「ウ」ではない)
- ・75 小節 全パート 1 拍目はパチッと切りメリハリつける。ダラーと延ばさない。
切った後はゆったりと(歌謡ショーでやるパターン)。
- ・78 小節 全パート 入る前にタメを入れるので、指揮をみてタイミングを合わせる。